

令和6年度第2回ゆりが丘まちづくり会議のご報告

○会議の目的

ゆりが丘は平成元年に分譲開始以来、30年以上が過ぎ、美しい緑に囲まれながら太平洋を一望できる丘の上の街として市街地環境が形成されてきました。

現在は時間経過による居住者の世代交代や転出、また、少子高齢化などが進みつつあります。

このことから、将来予想される様々な問題の発生を未然に防いでいくため、「人口の回復を早める策を検討すること」を当面のまちづくりのテーマとして地域の皆様と検討していくことを目的としています。

令和6年8月21日(水)19:00より、ゆりが丘公民館研修室で令和6年度第2回ゆりが丘まちづくり会議をおこないました。

会議の結果・概要は以下のとおりです

(1) 令和6年度第1回まちづくり会議の振り返り

- ・将来ビジョンとされる「つないでいくから楽しい」について検討した記憶があまりなかった。
⇒令和5年度第2回ワークショップの後に事務局案で提示したものである。

(2) ゆりが丘の将来ビジョンについて

- ・「なぜ若い人が来ないのだろう」という意見があるが、今は空き家がない。これから築20年を超過した物件が多くなると考えられ、買い手がつかない空き家も今後出てくる可能性もある。そのため10年後を見越した地域を考えたほうが良い。
- ・イトピア名取でうたわれていた内容や、本日提示された将来ビジョンに関するキーワードは、概ね2回目のワークショップの結果に含まれていた。

(3) 海の見える丘公園の利活用検討について

- ・9月の社会実験に、地域からもキッチンカーを出して参加したい。
⇒地域の参加は望ましい。参加いただけるよう調整する。
- ・眺望を確保するために木を切るのは良いが、ホテルの生活環境の保護に留意してほしい。
⇒承知した。

(4) その他

- ・テーマをある程度明確化し、分科会を設置し議論していく。
 - ・来年度までのスケジュール(案)を作成してほしい。
⇒作成し提示する。
-

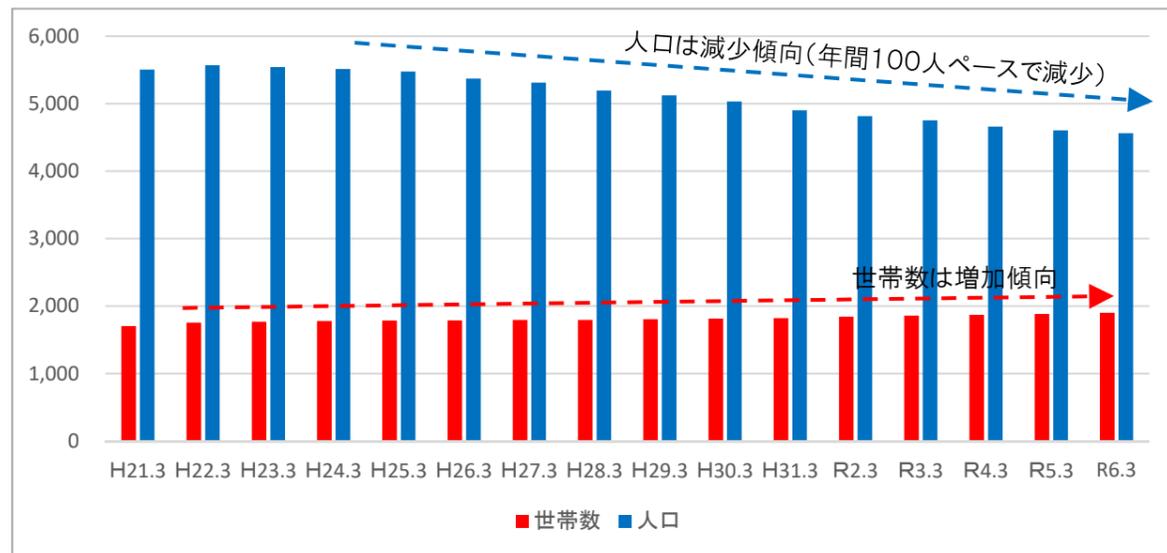
1. ゆりが丘の人口に関するデータ

(1) ゆりが丘の直近 15 年の人口・世帯数の推移

【表：人口・世帯数の推移（住民基本台帳）】

	ゆりが丘	
	世帯数	人口
H22.3	1,754	5,567
H23.3	1,766	5,541
H24.3	1,778	5,511
H25.3	1,784	5,474
H26.3	1,788	5,369
H27.3	1,793	5,311
H28.3	1,793	5,192
H29.3	1,804	5,122
H30.3	1,814	5,031
H31.3	1,820	4,900
R2.3	1,842	4,813
R3.3	1,858	4,751
R4.3	1,868	4,659
R5.3	1,883	4,602
R6.3	1,900	4,560

【図：人口・世帯数の推移（住民基本台帳）】



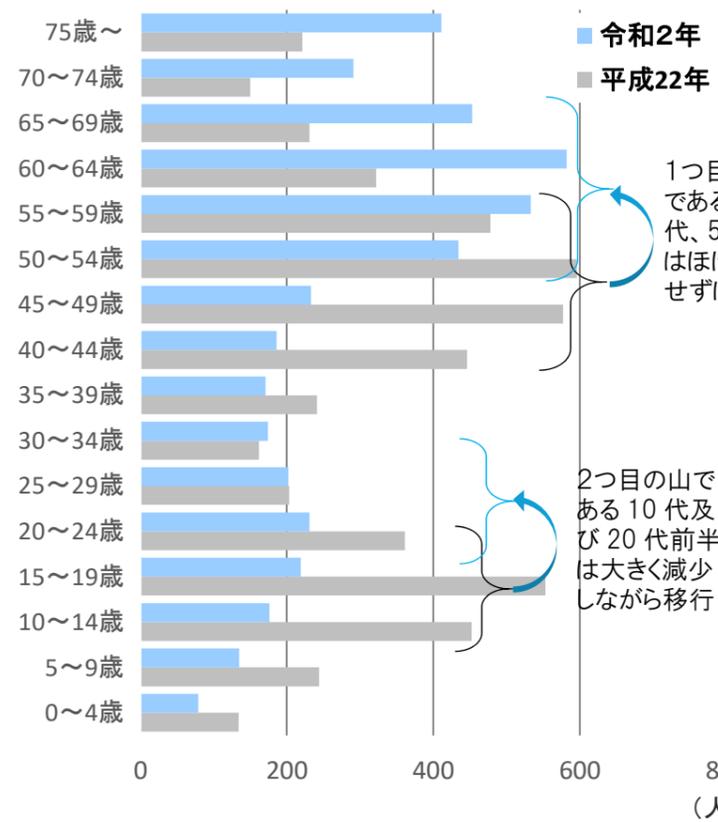
ゆりが丘の人口（住民基本台帳ベース）は、平成 25 年から 100 人/年のペースで減少傾向にあります。
一方、世帯数は増加傾向にあります。

(2) ゆりが丘の人口予測

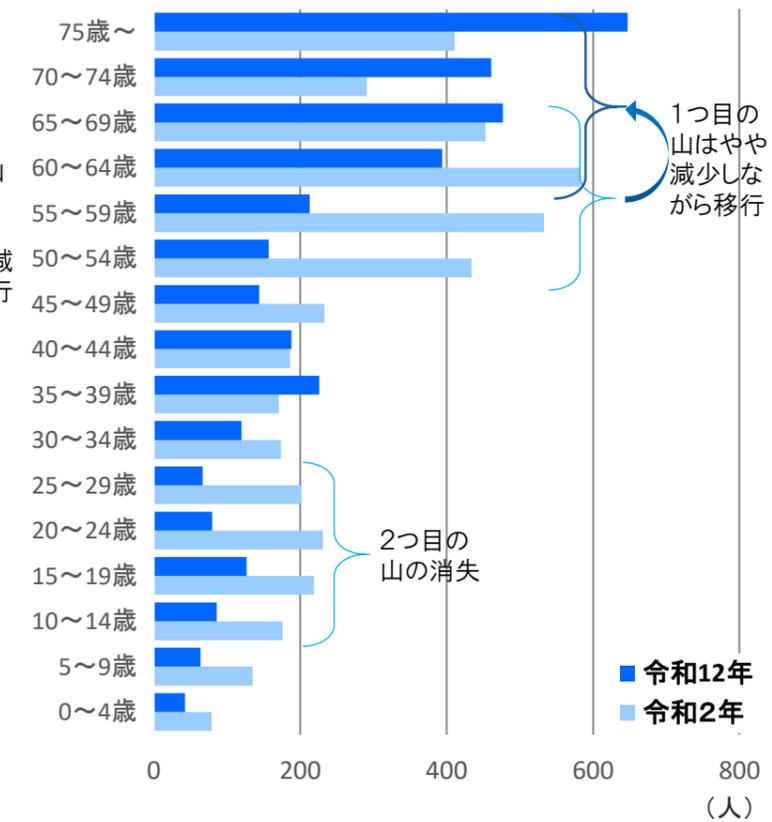
【表：年齢 3 区分別の人口の推移と予測（国勢調査、人口世帯予測ツール）】



【図：5 区階級別人口の推移（国勢調査）】



【図：5 区階級別人口の予測（人口世帯予測ツール）】



ゆりが丘の人口は生産年齢人口（15～64 歳）と年少人口（15 歳未満）の急激な減少を伴いながら減少していくことが予測されます。
5 歳階級別人口の動きをみると、人口減少の主要因は 10 代～20 代前半の転出にあることがうかがえます。

2. ゆりが丘の空き家に関するデータ

【令和5年度 空き家件数】

- ・名取市全体 124件
- ・ゆりが丘地区 3件（令和2年度 4件）
 - ・那智が丘地区9件
 - ・相互台地区 5件

ゆりが丘は、他地区に比べても空き家が少ない状況です。

3. ゆりが丘の高齢者に関するデータ

- ・高齢者独居世帯数 176世帯（令和4年度末時点）
- ・要介護認定者数（基準日 8.31）

要介護度	地区	15年前 (H20)	10年前 (H25)	5年前 (H30)	現在 (R5)
要支援1	名取市	59	325	437	534
	ゆりが丘	1	12	26	37
要支援2	名取市	137	401	489	477
	ゆりが丘	7	20	31	30
要介護1	名取市	348	475	658	782
	ゆりが丘	7	13	25	37
要介護2	名取市	529	550	527	590
	ゆりが丘	21	17	12	28
要介護3	名取市	441	365	364	429
	ゆりが丘	15	15	14	25
要介護4	名取市	356	346	380	433
	ゆりが丘	8	14	13	16
要介護5	名取市	269	270	267	350
	ゆりが丘	4	15	15	14
合計	名取市	2139	2732	3122	3595
	ゆりが丘	63	106	136	187

全世帯数の3.8%にあたる176世帯が高齢者の独居世帯です。
また、要介護者数は増加傾向にあります。

4. ゆりが丘の消防関連のデータ

・ゆりが丘地区の救急搬送件数

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
出動件数	105件	119件	100件	123件	135件	162件
搬送人数	101人	114人	92人	113人	120人	142人

・ゆりが丘地区の事故種別救急件数

事故種別	年別	2018	2019	2020	2021	2022	2023
火災					1件		
自然災害							
水難							
交通		7件	6件	1件	5件	2件	5件
労働災害				1件			1件
運動競技					1件	2件	
一般負傷		17件	16件	13件	23件	22件	26件
加害							
自損行為		2件	1件			1件	2件
急病		79件	95件	85件	93件	107件	128件
その他			1件			1件	
合計		105件	119件	100件	123件	135件	162件

ゆりが丘の緊急搬送件数は100件/年程度で推移しています。
ゆりが丘の救急件数は100件/年以上で推移しており、その主な種別は「急病」となっています。

5. ゆりが丘まちづくりアンケート 世代別分析結果

【まちづくりアンケート実施概要】

1) 調査目的

今後のゆりが丘のまちづくりの方向や各種施策を検討するための貴重な基礎資料としての活用を目的とする。

2) 調査方法

調査対象（配布数）	15歳以上の住民 1,000人
調査期間	令和5年9月25日～令和5年10月9日

注：11月6日時点 年齢別クロス集計は年齢不詳5件を除く

3) 回収状況

調査区分	配布数 (a)	回収数 (b)	回収率 (b/a)
合計	1,000	608	60.8%

【分析の考え方】

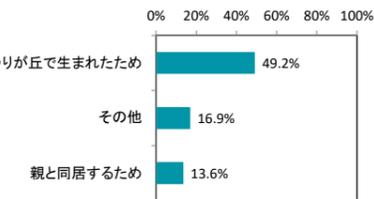
・回答者の世代により、意向に差が生じることが考えられるため、回答全体を以下での世代区分に分けて集計した。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1) 主にゆりが丘で生まれ育った世代 | ～20 歳代 |
| 2) 主に最近ゆりが丘に転入してきた世代 | 30 歳代～40 歳代 |
| 3) 主に分譲開始初期に転入してきた世代 | 50 歳代～60 歳代 |
| 4) 主に高齢の世代 | 70 歳以上 |

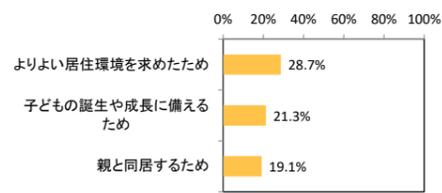
世代により差がみられない（少ない）設問

■当時の家・土地探しのきっかけをお答えください。（上位3位）

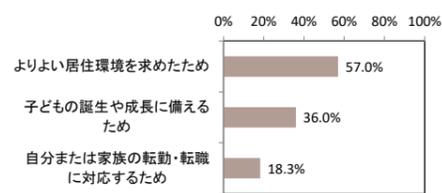
20 歳代以下



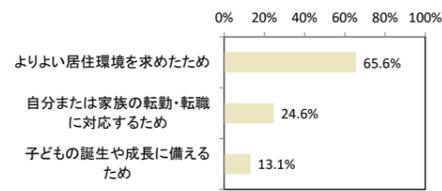
30 歳代～40 歳代



50 歳代～60 歳代



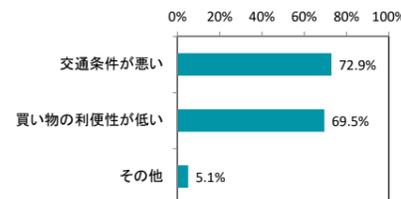
70 歳代以上



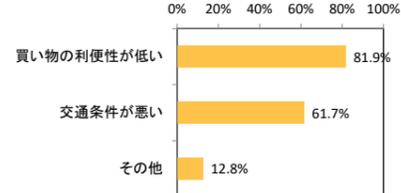
家・土地をお求めになったと考えられる30歳以上の全ての世代が「よりよい居住環境を求めたため」と回答しています。

■あなたが感じるゆりが丘の課題をお答えください。（上位3位）

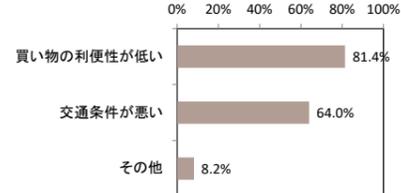
20 歳代以下



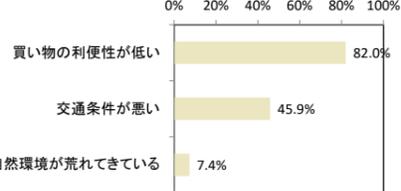
30 歳代～40 歳代



50 歳代～60 歳代



70 歳代以上



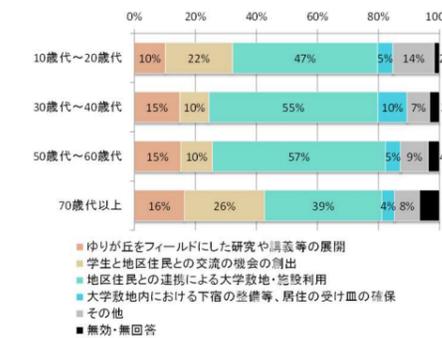
全ての世代で「買い物の利便性が低い」と「交通条件が悪い」がゆりが丘の課題と回答しています。

■ゆりが丘団地の住みやすさについてお答えください。



全ての世代で住みやすさを評価する意見（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」）が6割以上を占めています。また、高齢の世代ほど住みやすさを評価する割合が増えています。

■地区のまちづくりに対する尚綱学院大学の関わりについて、あなたが期待することを教えてください。

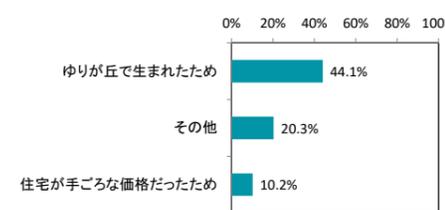


全ての世代で「地区住民との連携による大学敷地・施設利用」が最も望まれています。

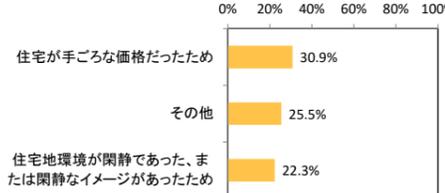
世代により差がみられた設問

■当時、ゆりが丘を居住地とした理由についてお答えください。（上位3位）

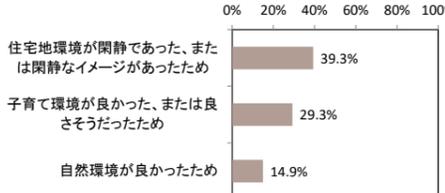
20 歳代以下



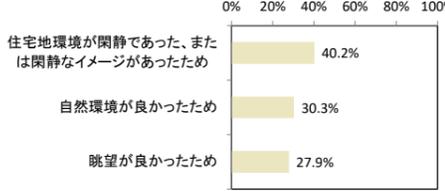
30 歳代～40 歳代



50 歳代～60 歳代



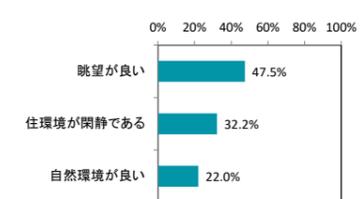
70 歳代以上



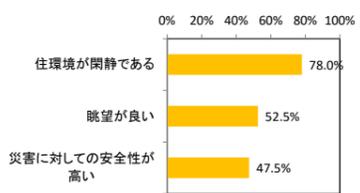
30歳以上のうち、30歳代～40歳代は「住宅が手ごろな価格だったため」、50歳代以上は「住宅地環境が閑静であった、または閑静なイメージがあったため」を最たる理由として挙げています。

■あなたが感じるゆりが丘の魅力をお答えください。（上位3位）

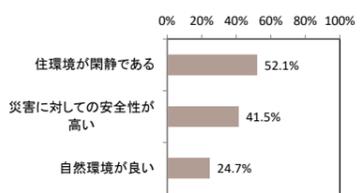
20 歳代以下



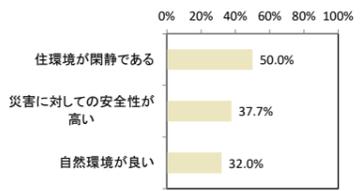
30 歳代～40 歳代



50 歳代～60 歳代



70 歳代以上



全ての世代で「住環境が閑静である」が魅力と感じている。また、40歳代以下は「眺望が良い」、50歳代以上は「災害に対する安全性が高い」も魅力として挙げています。

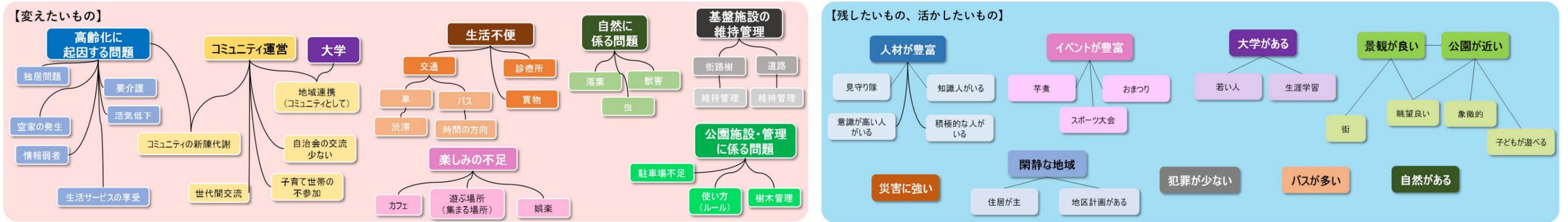
■海が見える丘公園のあり方について、あなたの考えをお答えください。



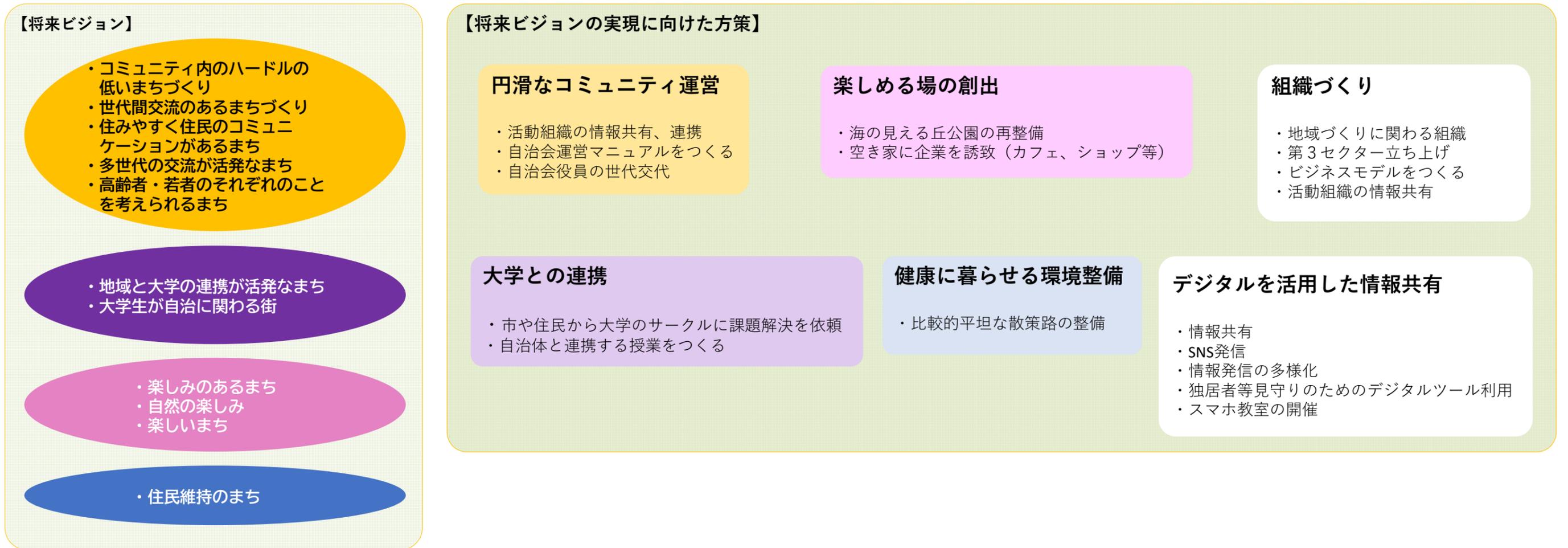
60歳代以下は「子どもが安全に遊具遊びができる公園」、70歳代以上は「高齢者が健康づくりを行える公園」を望んでいます。

6. 令和5年度まちづくりにおけるワークショップ結果

(1) 令和5年度第1回ワークショップの結果



(2) 令和5年度第2回ワークショップの結果



ゆりが丘の将来ビジョンについて

1. 令和6年度第1回まちづくり会議でのご意見

- ・令和6年度第1回まちづくり会議において、以下のような将来ビジョンの例が挙げられました。

【将来ビジョンの例】

- ①健康なまち
- ②安全・安心なまち
- ③生活に便利なまち
- ④楽しみのあるまち
- ⑤住民交流が活発なまち
- ⑥情報化（デジタル化）の進んだまち
- ⑦世代の若返り
- ⑧未来志向のまち
- ⑨お宝を発見・創造して活用するまち
- ⑩先行・実験モデルとなるまち

海の見える丘公園利活用検討構想(骨子検討案)

背景・目的

ゆりが丘は平成元年に分譲開始以来、30年以上が過ぎ、若年層の転出などにより、年間100人ペースで人口が減少している。また、少子高齢化や居住者の世代交代の影響で地域コミュニティが低下しており、今後、地域活動に影響を及ぼす恐れがある。

「海の見える丘公園」は、現状ではほぼ地区住民の利用に留まっているが、本公園を『写真映えするスポットづくり』することで、SNS等を通じて公園の知名度を向上させ、市内外からの公園利用者を増やし、まちの活性化へとつなげていくものである。

意向調査等の結果

○公園利活用アンケート結果（令和5年11月19日実施）

- ・利用者は30~40代で64%、50~60代以上で21%、30代以下で12%
⇒子育て世代が最も多く、この世代がSNSを活用することで、同世代や30代以下の若者の知名度と集客向上が見込まれる。
- ・公園への交通手段として自家用車で来る方が多かった。⇒駐車場の整備が必要

○まちづくりアンケート結果概要・意見（抽出）（令和5年9月25日~令和5年10月9日実施）

- ・まちの魅力は⇒眺望や自然環境 ・課題は⇒自然環境の荒れや眺望が悪い
- ・公園のあり方は⇒安全に遊具遊びができる、ゆっくり休むことができる、イベント等ができるなど

○第1回まちづくりワークショップ検討概要（抽出）（令和5年9月2日実施）

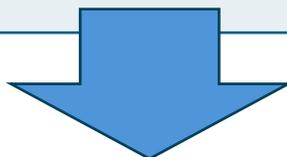
- ・残したいもの、活かしたいもの
⇒景色がいい、海の見える丘公園、緑の豊かさ、眺望の向上
- ・変えたいもの
⇒海が見えない現状、若い人を含めた交流が必要、集まれる場所がない

○第2回まちづくりワークショップ検討概要（抽出）（令和5年10月29日実施）

- ・将来ビジョン
⇒自然環境を楽しむ、地域資源を活かす、多世代の交流が活発なまち、イベント場所として公園開放
- ・ビジョン実現に必要な取り組み⇒海見え公園の整備（誇れるインフラ）、SNS発信等

○方針の整理

以上のことから幅広い世代の方が眺望を楽しめ交流が生まれる「映えるスポット」の整備が必要である。



基本方針

海の見える丘公園からの眺望「確保」「活かす」
⇒眺望景観の確保・向上

子どもと大人が「楽しめる」
⇒公園施設の充実

幅広い世代が「集まり」「つながる」
⇒交流の場の創出